Excel との接続方法

(BarTender 2019-2021 共通 Starter 版以上)

※ご利用いただく BarTender のバージョンにより本マニュアルの画面と差異があることがございます

Excel データベースよりデータを参照し、ラベルを発行する簡単な例をご紹介いたします。

以下は、コンピュータの C ドライブの BT フォルダに左のようなエクセルファイル、「商品マスタ.xlsx」があった場合の例とします。

列「商品名」をテキストに、「商品番号」を JAN-13 バーコードに関連付けて、右のようなラベルを作成します。

(商品番号の末尾は JAN-13 バーコードのチェックデジットで、BarTender により自動的に付加されます。)

▼C:¥BT¥商品マスタ.xlsx



(Excel で接続先のファイルを開いていたら、閉じてください。BarTender と Excel で同じ Excel ファイルを時 に開くとエラーになります)



設定方法

1. BarTender にて新規ドキュメントを作成し、[ファイル>データベース接続設定]を選択します。

	ル(F) 編集(E) 表示(V) 作成(C) 並べ替え	(A) 管理(D) ツール	レ(T) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)
	新規作成(N)	Ctrl+N	
2	開く(O)	Ctrl+O	
	閉じる(C)	Ctrl+F4	$\mathbf{v}_{\mathbf{v}} \mathbf{v}_{\mathbf{v}}^2 \mathbf{A}_{\mathbf{v}} \frac{ab}{2} \mathbf{v} \mathbf{w} - \mathbf{v}_{\mathbf{v}}^2 \mathbf{v}_{\mathbf{v}}^2 \mathbf{v}_{\mathbf{v}}^2$
	すべて閉じる(E)		
	保存(S)	Ctrl+S	. 30 . 40 . 50 . 60 . 70 . 80 .
	名前を付けて保存(A)		
0	すべて保存(L)		5
	データベース接続設定(D)		
	ページ設定(G)		
	印刷フレビュー(V)	Ctrl+R	Tend ① データベース接続設定
3	Eh@l(h)	Ctrl+P	- アイテムの印刷時にデータを読み出すデータベースを指定します。
1	Reprint Console		
	画像のエクスポート(I)	Ctrl+E	
	画像のクイックエクスボート(Q)	Ctrl+Shift+E	
	フリンタコートテンフレートのエクスホート(1)		ツールバーのデータベース接続設定
	BarTenderドキュメントのオブション(M)		からも開けます
<u>।</u> न	ータベース設定ウィザード]を選んで[次へ]を選びます。 X
■ デ デー このウ・ データ・	-タベース設定ウィザード -タベース種類の選択 ロイザードを使用すると、さまざまなリレーショナルデータベースの種類を選択してください:	-スシステムとデータファイル]を選ん で[次へ]を選びます。 ×
デ デー このウ・ データ・	-タベース設定ウィザード -タベース種類の選択 ハザードを使用すると、さまざまなリレーショナルデータベ・ ベースの種類を選択してください: テキストファイル(T) CSVおよび固定幅フィールドを含む各種のI	-スシステムとデータファイリ ンコーディングと形式に対]を迭んで[次へ]を迭びます。 × レ種類に接続できます。
デー このウ・ データ・	-タベース設定ウィザード -タベース種類の選択 ハザードを使用すると、さまざまなリレーショナルデータベースの種類を選択してください: デキストファイル(I) CSVおよび固定幅フィールドを含む各種のI XMLファイル(X) 任意のスキーマのXMLファイルをサポートしま	-スシステムとデータファイル -スシステムとデータファイル :ンコーディングと形式に対 す。]を迭んで[次へ]を迭ひます。
デ- このウ・ デ-タ・	-タベース設定ウィザード -タベース種類の選択 ハザードを使用すると、さまざまなリレーショナルデータベー ベースの種類を選択してください: デキストファイル(I) CSVおよび固定幅フィールドを含む各種のI XMLファイル(X) 任意のスキーマのXMLファイルをサポートしま BarTender Data Builder(L) BarTender Data Builder(L)	-スシステムとデータファイ川 ンコーディングと形式に対 す。 たデータベースをサポートし]を迭んで[[八へ]を迭ひます。 × い理類に接続できます。 応します。
■ デ - このウ データ・	-タベース設定ウィザード -タベース種類の選択 ハーザードを使用すると、さまざまなリレーショナルデータベースの種類を選択してください: アキストファイル(I) CSVおよび固定幅フィールドを含む各種のI XMLファイル(X) 任意のスキーマのXMLファイルをサポートしま BarTender Data Builder(L) BarTender Data Builder(L) BarTender Data Builder(によって作成され Microsoft Excel(E) すべてのパージョンのExcel (*.xlsおよび*.xlsx	-スシステムとデータファイ川 :ソコーディングと形式に対 す。 たデータベースをサポートし、 (ファイルを含む)に対応しま]を迭んで[次へ]を迭ひます。 レ種類に接続できます。 応します。 ます。 ます。
■ デ デー このウ・ データ・	-タベース設定ウィザード -タベース種類の選択 -タベース種類の選択 - ダベース種類の選択 - マベースの種類を選択してください:	-スシステムとデータファイル ニンコーディングと形式に対 す。 たデータベースをサポートし。 、ファイルを含む)に対応しま]を迭んで[次へ]を迭ひます。



3. [参照ボタン]を押し、商品マスタの場所を指定し[次へ]。

xlsx 形式(Excel2007 以降)等に接続できます。

■ データベース設定ウィザード	×
ファイルを選択	
Microsoft Excelスプレッドシートファイルを選択またはファイル名を入力してください:	
ファイル名(I): C:¥BT¥商品マスタ.xlsx ファイルの選択(S)	
BarTenderは、Excel 2007以降で作成されたファイルをネイティブにサポートします。	
< 戻る(B) 次へ(N) > 完了(E) キャンセル	

※ファイル名は、[C:¥BT¥商品マスタ.xlsx] のような絶対パスのほか、

ネットワークパス(例: ¥¥FILESERVER¥DATA¥商品マスタ.xlsx)

相対パス (ドキュメント(btw ファイル)からみた相対パス)でも指定できます。

相対パスの例	
[C:¥BT¥ラベル.btw] から [C:¥BT¥商品マスタ.xlsx] に接続:	[.¥商品マスタ.xlsx]
[C:¥BT¥ラベル.btw] から [C:¥BT¥DB¥商品マスタ.xlsx] に接続:	[.¥DB¥商品マスタ.xls]
[C:¥BT¥ラベル.btw] から [C:¥DATA¥商品マスタ.xlsx] に接続:	[¥DATA¥商品マスタ.xlsx]
相対パスを利用するには、事前にドキュメント(btw ファイル)を保存	字しておく必要があります。
ファイルが見つからない場合[次へ]ボタンは押せません。	



4. データ検出方法を指定します

∃ データベース設定ウィザード	×
データ検出	
Excelスプレッドシートからデータを検出する方法を指定:	
✓ フィールド種類の自動検出を使用(選択した場合、すべてのフィールドはテキストとして読み取られます)(U) □ 空のレコードを無視(I)	
< 戻3(B) 次へ(N) > 完了(E) キャン	セル

5. 利用したいデータの入っているシート[Sheet1\$]をドロップダウンリストから選択します。 最初の行を列名でなくデータとして利用したい場合は[最初の行にフィールド名がある]のチェックを外し ます。

[範囲の指定]では指定したセル範囲に接続することができます。

ファイルのプレビュー をクリックするとシートの内容を確認できます。

🗑 デー:	タベース設定ウィザ・	-K				×
表0)選択					
シートを	を選択して、そのシー	-トにデータを配置する方法を指定します				
シ	-ト(<u>S</u>): Sheet1	~				
ν	ドの場所: ④ 行	行(R) ○列(L)				
-						
	▲ 最初の行にノイ・	-ルト名かあつ(!)				
	範囲を指定(<u>P</u>):		nple: A3:C29)			
^ 7	ァイルのプレビュー					
ſ	商品番号	商品名				
	490000100001	三菱ふそう エアロクイーン				^
	490000100002	三菱ふそう キャンターレッカー車				
	490000100003	トヨタ メガクルーザー パトロールカー				
	490000100004	Honda VFR 白バイ				
	490000100005	ト∃夕 bВ				
	100000100000	··· · ··· ·· +				~
			· 三3(D)	27 A (NI) >		الطرب
			< 床の(0)	X/(II) >	FUC 47.	



6. 選択されたシートが表示されます。

通常はそのまま[完了]をクリックします。

データベース設定ウィザード		×
テーブル		
	以下のテーブルが選択されました:	
	Sheet1	
	このワークブックから追加のテーブルを追加する必要がありますか?	
	○ はい、別のテーブルを選択します(Y)	
	● いいえ、終了しました(型)	
	< 戻る(<u>B</u>) 次へ(<u>N</u>) > 完了(<u>F</u>) キャンセル	,

7. 以上で、Excel ファイル「商品マスタ.xlsx」へのデータベース接続が作成されました。 [レコードブラウザ]タブにてデータを確認できます。

商品マスタ 高品マスタ ふのしステートメント	レコードブラウナ	f	
また ひるとんり イルタイ 二 テーブル 三 フィールド	検索するテキストを	入力してください	٩
 ↓ 並べ替え順序	商品番号	商品名	
🝸 วานปล	490000100001	三菱ふそう エアロクイ	
** # #\$1751_71	490000100002	三菱ふそう キャンター	
	490000100003	トヨタ メガクルーザー	
lallel項目あたりのレコート数	490000100004	Honda VFR 白パイ	
🄊 レコードブラウザ	490000100005	トヨタ bB	
	490000100006	Honda リトルカブ	
	490000100007	ALSOK (アルソック…	
	490000100008	日産ピノ	
	490000100009	コマツ 油圧ショベル P	
	490000100010	スバル サンバー パン屋	
	<		> 144 44 4 Record 1 of 10 🕨 🗰 🚧
% ×c		Γ	OK キャンセル ヘルプ



 次に「商品名」となるテキスト、「商品番号」を参照するバーコードを任意の位置に配置します。 ツールバーの[テキスト]ボタンをクリックし、ドロップダウンから[通常]を選んで、ラベル上をクリック してテキストを配置します。



9. ツールバーのバーコードボタンをクリックし、バーコードの追加より、左側の[汎用]を選び、 右側の[JAN-13]をクリックし、下の[選択]ボタンをクリックします。

(検索欄に JAN 等バーコードの名前の一部を入力して検索することもできます)





10.その後ラベル上をクリックして、バーコードを配置します。



11.まずテキストオブジェクトと「商品名」を関連付けます。

.

テキストオブジェクトをダブルクリックしてプロパティを開き、左ツリーからデータソースを選択します。 [種類]の右のボタンで変更ウィザードを開き、種類を[データベースフィールド]に変更し、次へ進みます。

テージ ソース	サ × テーダハー人接続.btw ×		1
■ 組み込みデータ	<u>^</u>	30,	0 +
12 日時	0	î	+=
001 連番発行数			\rightarrow \circ
🖃 🛅 データベース	サンプル テキ	キスト 🍦	
■ 商品名			TI
■ 商品番号			_
□ 🛅 テーブルデータフィールド	▶ テキストのプロバティ		×
<なし> □ == データス カフィールド	14 5	データソース データ 種類 変換	
	A =+7L +		
□ ▲ 名前付きデータソース		名前(N): <ねし>	<u></u>
□	- 白動調整	s/ch(c).	_
<		種類(T):	<u></u>
□ 100 オブジェクト値			_
	□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	▶ デーダゾー人の種類変更ワイザート	×
		データソース種類の選択 ロロリー ロロヨロノー 日日	
🖃 🛃 印刷ジョブフィールド	↓ サンプル テキスト		
🛃 アプリケーションのバーシ		C Strain Control of Co	1010
アプリケーションエディシ			
81 コンピュータター 日本レイヤー のデデータ			
ローレイヤー (ローク)	-	データソースの新しい種類を選択してください。	
1 7 9 9 9 1 1 1 1		種類(T): <新しい種類の選択> ✓	
		<新しい種類の選択>	
		 日付と時刻 	
		● クローハルテーダフィールド ● →====================================	



12.フィールド名として[商品名]を選択し、[終了]をクリックします。

▶ データソースの種類変更ウィ!	ザード ×
データベース フィールド ED刷時にデータベースから読	あ取るフィールドを指定します。 本国の日本のでは、 本国の日本のでの 本国の日本ののでの 本国の日本のでの 本国の日本ののでの 本国の日本のの 本国の日本のの 本国の日本のの 本国の日本のの 本国の日本の 本国の日本のの 本国の日本のの 本国の日本のの 本国の日本のの 本国の日本の 本国の日本の
以下から希望のデータソースフ- タベース接続設定ボタンを使っ さい。 また、選択したフィールドのデー	ィールド名を選択してください(フィールド名リストが空の場合は、デー てこのBarTenderドキュメントで使用するデータベースを指定してくだ タのサンブル表現を入力してください。
フィールト名(E): サンプル フィールド データ(S):	商品番号 高品名
	データベース接続設定(D)
	< 戻る回 次へ(11)> 終了(15) キャンセル



13.デザイン画面上で、接続したデータベースの最初のレコードのデータが確認できます。下のナビゲーショ ンバーより、他のレコードのデータも表示できます。



なお、左側の[データソース]ツールボックスより、データベースフィールドをドラッグして ラベル上に配置するとフィールドにリンクした 通常テキスト が作成でき、 バーコードやテキストに重ねると、データベースフィールドをリンクさせることができます。



14.次にバーコードをダブルクリックし、同様にデータソースの種類を [データベース フィールド] とし、フ ィールド名に[商品番号]を選択します。

データ ソース Ŧ×	Excelとの接続.btw * ×				
🔛 組み込みデータ	ىلىسا 20 لىسا 20 لىسا 10 لىلسىلى	40	0	0 110 120 130 140	150
 ● 日付と時刻 ■ データペース ● 商品名 ■ 商品番号 ■ 名前付きデータソース < < なし> ● グローパレデータフィールド ● グローパレデータフィールド ● FUNCTIONS ● TESTCOUNTER ● 聞 オブシホクト値 					
• A 7	1 -3	バーコード	のプロパティ		×
		=	- h caus +15		
			アーク権規一変換		
		名前(N):	<なし>		T
	สีวีแ,	種類(T):	😝 データベース フィールド		
			茶日来是		
□ 境界線		24 701-40(7)	C. B. COL		
一 一 位置		サンブル データ (S):	2112345678917	^	Ω
▲ データソース					
フィールド	: 商品マスタ.Sheet1\$.商品番号				
		7-9/	-人接続設定(D)		
and the second se					

15.以上でデータベースとの接続設定は完了です。







よくある質問

Excel 2003 形式(*.xls)のファイルに接続できません

BarTender 2019 は Excel 2003 形式(.xls)や Accss2003 形式(.mdb)に接続できる 64 ビット版のドライバ を持っていません。

このため、64 ビット版 OS では以下のような表示になり xls 形式のファイルに接続できません。



Excel で同ファイルを開いて.xlsx 形式で保存し直すか、64bit 版の Access データベースエンジン(x64)を インストールしてください。

64bit 版の Access データベースエンジン AccessDatabaseEngine_X64.exe は下記 Microsoft サイトより ダウンロードできます。

Microsoft Access データベース エンジン 2010 再頒布可能コンポーネント https://www.microsoft.com/ja-JP/download/details.aspx?id=13255

接続先 Excel ファイルを変更したい

暖続先 Excel ファイルを変更したい	8	データベースの設定	×
ファイル>データベース接続設定 で、接続の設定	 ・ 高品マスタ ・ ・ ・	接続プロバティ 種語: Microsoft Excel(E)	
>参照 より、接続先 Excel ファイルを変更するこ	■フィールド 2↓並べ替え順序 ▼フィルタ	Database: 最早又分 通過的設定(C) Catabase conservice proceeding are currently stored in this document	
とができます。	✿ オプション ₽ レコードプラウザ		
シート名や列名が変わると、			
「新 DB 内のデータベースの形式が		スプルボドシートを今番税をは入力リバビだわい:	
旧式のデータベースの形式と一致しません。		アイル名(I): C:WBTW優易マスタ.x/s	
新 DB への新しいデータベース接続を作成します			
か?」			
と表示されますので、[はい]をクリックして設定を			
更新します。		< 居さ(8)	





データベース接続設定を削除するには

データベースの接続設定を削除するには、ファイル>データベースの設定より、左側のデータファイルを クリックし、下の赤い[×]ボタンをクリックして接続を削除します。

8	データベースの設定	×
	接続プロパティ	
 〒 20Lステートメント □ テーブル □ フィールド 2↓ 並べ替え順序 マ フィルタ オプション ク レコードブラウザ 	種類: Microsoft Excel(E) Database: 高品ススタ 援続の設定(C) Database connection properties are currently stored in this document. To share this database connection with other documents, create a named connection. 名前付きデータバース接続の作成	
	- データベース接続設定の削除 OK ++ンヒル ^ルシ*	

エラー#3204 テンプレートで使用されているフィールドがありません

reference…



印刷時、プレビュー時などに以上のようなエラーが表示されて印刷できないことがあります。これは、ラベル 上のオブジェクト(テキスト、バーコードなど)に、データベースのフィールドが正しく設定されていないとき に表示されます。

ラベル上のオブジェクト(テキスト、バーコードなど)のデータソースを開き、フィールドを選択し直してみて ください。



レコードブラウザで一部の列が表示されない

レコードブラウザ では列名を右クリックして表示されるメニューで、すべての列を表示 を選ぶとすべての 列が表示されます。

🗐 データベースの設定			×
■ 商品マスタ	レコードブラウサ	f	
「QL SQLステートメント			
<u></u> = −ブル	検索するテキフトを	みカレズ(ださい) 列名を右クリック	Q
□ フィールド	1277 9 07 1 21 2		
2↓並べ替え順序	商品番号	発行枚数	
T7119	490000100001	■ 列選択を表示	
(ひ オプション	490000100002	*A* ベスト フィット	
	490000100003	ベスト フィット (すべての列)	
⁽¹⁰⁾ 項目 あたりのレコード数 <u> </u>	490000100004	すべての列を表示	
	490000100005	使用されている列を表示	
	490000100006	この列を削除	
	490000100007		

レコード(行)ごとの印刷枚数をデータベースの列から取得するには

例えば Excel の列 [発行枚数] で指定した枚数分を発行するには、

ファイル>印刷 より印刷ダイアログを開き、コピー数のプロパティから

[データベースフィールドから数量を取得]を選び、フィールド [発行枚数]を選択します。

印刷 [データベース接続.btw]	×	
印刷オブジェクトの印刷方法		
プリンター		
名前(N): Microsoft Print to PDF	× 🔛	
状態: 準備完了	ドキュメントのEPF制設定(D)	
ドライバ: Microsoft Print To PDF ポート・ POPTRPOMPT・	プリンタのプロパティ(P)	
場所:	面面(FED刷(B)	
	 ファイル(こ印刷(F) 	
枚数 オプション □ピー数(C): データベー レコードの選択 ■ 印刷枚数オプション	-スフィールド:商品マスタ.Sheet1.	×
iaj ⊐ピー数	数量ソース ●印刷ダイアログで数量を指定(P) ■ レコード選択ダイアログでの枚数を上書きを許可(A) ④ データベースフィールドから数量を取得(D) データベースフィールド(E): 逆行収数 ● データソースから数量を取得(S) ● 無制限の数量(キャンセルされるまで印刷)	~

